

平成 25 年度  
事業計画



# 平成 25 年度 社会福祉法人 萩市社会福祉事業団 事業計画書

## 1. はじめに

わが国では、団塊の世代の方達が 65 歳を迎え、急速な少子高齢化に拍車をかけています。リーマンショックから立ち直りかけていた経済状況も震災や原発事故、近隣諸国等との関係悪化から停滞し、税収等の落ち込みから慢性的な財政不足に陥ってしまっています。

そのため、将来的に安心できる国民生活を得るには社会保障制度改革とそれを支える健全な財政の確立が必要とされており、この度、経済状況を好転させることを条件として消費税の引き上げが決定されました。

政権も昨年 12 月の選挙により民主党から自民党へ変わり、デフレ克服のためアベノミクスなる造語が象徴するように大胆な金融緩和、財政政策等が行われようとしています。

社会福祉法人を取り巻く環境の変化としては、社会福祉法人の過剰な内部留保が問題視されたこともあり、昨年度から社会福祉法人の会計基準が変わり、法人全体の財務状況を明らかにし、経営分析を可能とするとともに外部への情報公開に資することが求められるようになりました。

一方、法人運営においては、老朽化した救護所、指月園の建替え並びに新たにケアハウスの機能を設けた「福祉複合施設つばき」を開設しました。今年度は、新しい機能を備えた施設において今まで以上の利用者処遇の向上に努めたいと思います。

また、今年度 4 月からの新しい職員の確保においては、学生向け就職情報サイトのマイナビの活用および各高等学校に職員募集の説明を行い、高校生の採用枠を広めたこともあって、専門学校卒を含めた新卒者 11 名の介護職員を採用することができました。しかしながら、看護職員の確保においては 1 名のみが確保できただけで、60 歳を超えた看護職員の方も 6 名在籍していることもあり、事業存続のためには、看護職員の確保は喫緊の課題となっています。

対策として昨年度から看護職員養成のために奨学金制度を設け、今年度から 1 名の方の支援をするようになりました。

経営状況においては、昨年 4 月に介護報酬の改正があり、国の厳しい財政状況から介護報酬に減額が生じました。特に通所介護では利用者ニーズから時間延長に対応できず、多額の介護報酬の減額が生じましたし、訪問介護では介護報酬の解釈を誤り、多額の返戻金が生じてしまいました。また、指月園ではスプリングラ設備の不備から新規入所者の確保ができず、法人全体としても厳しい結果に終わりました。

以上のような状況を踏まえ、社会福祉法人 萩市社会福祉事業団では平成 25 年度の事業計画を次のように策定します。

## 2. 整備事業等

### ①在宅サポートセンターかがやきの整備（継続事業）

萩・福祉複合施設かがやきの訪問系の事業所（萩市ヘルパーステーションかがやき、萩市指定居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションかがやき、在宅介護支援センターかがやき）の職員増により、事務所が狭隘になったことから、今後さらに増加が見込まれる在宅サービスに

対応するため、福祉複合施設つばきの敷地内に、在宅サポートセンターかがやきを整備し移転します。

#### ②萩・福祉複合施設かがやき屋根・壁補修

萩・福祉複合施設かがやきが開設から12年が経過し、屋根・壁の塗装の剥がれや小さなクラック等が生じています。建物の状態を適切に維持していくため、補修を行います。

### 3. 事業の廃止

#### 小規模デイホーム朝陽の家

萩市佐々並地区において平成19年4月から事業を開始していました小規模デイホーム朝陽の事業を平成25年9月末日（予定）をもって廃止します。

小規模デイホーム朝陽は、それまで佐々並地区において介護サービスを利用できる事業所がなく、住みなれた地域でサービスを受けたいと住民の方々が望まれておられたことからはじめたサービスですが、この度、佐々並地区で診療所を運営しておられる丘病院が診療所に併設してデイサービスを展開したいという希望があり、法人としての初期目的を達成したことから事業の引継ぎを行うものです。地域の方には、医療機能を伴った福祉サービスを受けられるようになり、サービスの向上につながると思います。

### 4. 職員採用計画

事業の広がりから職員数は420名を超えるようになりました。この職員数を維持するため、65歳を超えても元気で働ける方を雇用していますが、その数は20名程にもなっています。ことから職員の新陳代謝を図らなくてはなりません。随時の職員募集等により職員の充足を図りたいと考えています。

#### 【新卒採用年度計画】

年度	看護職員	介護職員	合計
26年度	2名程度	10名程度	12名程度
27年度	2名程度	10名程度	12名程度
合計	4名程度	20名程度	24名程度

### 5. 福祉人材養成支援

将来の福祉を担う人材の養成を支援します。

#### ①介護職員初任者研修の自主養成

第1回：平成25年7月～9月・第2回：平成26年1月～3月予定

#### ②介護職員初任者研修課程実習受託

#### ③社会福祉士実習受託

#### ④介護福祉士実習受託

#### ⑤看護師実習受託

### 6. 職員資質・専門性の向上

研修の実施等により人権意識の向上とともに福祉に携わる職員として必要な知識・援助技

術の向上を図ります。

①新人内部研修

社会人としての意識改革を図り、職員間のコミュニケーションとより早く担当業務に慣れることを目的として新人研修を行います。

②職能内部研修

介護職員としての専門性を図ることを目的として、1年次職能内部研修及び3年次職能内部研修を行います。

③認知症研修

後期高齢者の増加から、認知症高齢者が増えています。認知症を理解し、認知症高齢者の人権を尊重したサービスを実施するため認知症研修を行います。

④各種外部研修

各職種の専門性を高めるため、多種多様な外部研修に参加させます。

⑤社会福祉士・介護福祉士実習指導者の養成

福祉の専門家を育てることを支援するため実習指導者を養成し、福祉の専門職場としての実習指導施設を目指します。

8. 財政基盤の安定化

財政基盤の安定を図るため、本年度は以下の事業を実施します。

(1) 第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームの経営	萩市特別養護老人ホームかがやき
養護老人ホームの経営	養護老人ホームつばき
救護施設の経営	救護施設つばき
軽費老人ホームの経営	ケアハウスつばき

(2) 第二種社会福祉事業

老人居宅介護等事業の経営	萩市ヘルパーステーションかがやき 萩市ヘルパーステーションつばき 萩市ヘルパーステーションやまびこ
老人デイサービス事業の経営	萩市デイサービスセンターかがやき 萩市デイサービスセンター楽々園 萩市デイサービスセンターみしま 萩市中津江デイサービスセンターなごみ 萩市無田ヶ原口デイサービスセンターおとずれ 田万川小規模デイホームうたたね 小規模デイホーム朝陽 萩市須佐デイサービスセンターやまびこ
老人短期入所事業の経営	萩市特別養護老人ホームかがやき 萩市老人保健施設かがやき 養護老人ホームつばき

	萩市中津江認知症高齢者グループホームなごみ
老人介護支援センターの経営	萩市在宅介護支援センターかがやき 萩市在宅介護支援センター楽々園 萩市在宅介護支援センターみしま 萩市在宅介護支援センターなごみ 萩市在宅介護支援センターおとずれ 萩市在宅介護支援センターうたたね 萩市在宅介護支援センターやまびこ
老人福祉センターの経営	萩市老人福祉センター楽々園
障害者福祉サービス事業の経営	萩市ヘルパーステーションかがやき 萩市ヘルパーステーションやまびこ 萩市デイサービスセンターかがやき
無料低額介護老人保健施設の経営	萩市老人保健施設かがやき
認知症対応型老人共同生活援助事業の経営	萩市中津江認知症高齢者グループホームなごみ

### (3) 公益事業

訪問看護事業の経営	萩市訪問看護ステーションかがやき
居宅介護支援事業の経営	萩市指定居宅介護支援事業所かがやき 萩市指定居宅介護支援事業所楽々園 萩市指定居宅介護支援事業所やまびこ
萩市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の経営	萩市山田高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 萩市中津江高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 萩市無田ヶ原口高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業
病後児一時預かり事業の経営	萩市こどもデイサービスセンター
萩市かがやき介護予防センターの経営	萩市かがやき介護予防センター
社会福祉事業に関する人材養成研修の実施	介護職員初任者研修事業
理学療法士・作業療法士等養成奨学金貸付事業	リハビリ、看護師養成貸付金事業
介護予防事業の受託運営	萩市デイケアセンターかがやき 萩市デイサービスセンター楽々園 萩市デイサービスセンターおとずれ 萩市須佐デイサービスセンターやまびこ
生活支援ハウスの経営	萩市高齢者生活支援ハウスみしま 萩市無田ヶ原口高齢者生活支援ハウスおとずれ 萩市須佐高齢者生活支援ハウスやまびこ

## 9. 理事会・評議員会の開催

### ①評議員会の開催

- ・第1回評議員会・・・・・・・・平成25年5月下旬開催
- ・第2回評議員会・・・・・・・・平成26年2月下旬開催

### ②理事会等の開催

- ・第1回理事会・・・・・・・・平成25年5月下旬開催
- ・第2回理事会・・・・・・・・平成26年2月下旬開催

## 10. 監査

### ①書面監査・・・・・・・・年2回（11月下旬・5月中旬開催）

全施設及び事務局を対象に会計諸帳簿、契約書その他の書類について実施

### ②決算監査・・・・・・・・年1回（5月中旬開催）

決算報告に関する事項について実施

## 11. 会議等の開催

- ①管理者会議・・・・・・・・・・・・・随時
- ②事業所別職員会議・・・・・・・・・・年12回予定
- ③その他会議・各専門部会・・・・・・随時

## 12. 情報の提供

各事業所の紹介、催物、職員採用情報等、ホームページからいろんな情報を発信していきます。

## 13. 中・長期計画(平成24年度～平成28年度)

### (1)省エネ対策

地球温暖化をはじめ、環境破壊や環境汚染が進行しています。当法人としても、温暖化の進行を少しでも緩和させるために、太陽光エネルギーの活用及び電気自動車やLED照明の使用により省エネに取り組むこととします。

### (2)認知症対策

萩市では少子高齢化が進み、後期高齢者の増加から独居等の認知症高齢者が増えています。認知症高齢者を支え、安全・安心に暮らせる場所の確保が必要となっています。平成28年度までに小規模認知症デイサービスとグループホームを整備したいと考えています。また、認知症の専門家を育てるため、認知症介護実践者研修や認知症介護実践リーダー研修へ積極的な参加を促し、スキルアップを図ろうと考えています。

### (3)大規模修繕等

萩・福祉複合施設かがやきは開設から12年が経過し、屋上の瓦や壁等の塗装に傷みが生じ

ています。また、機械設備も経年劣化により補修を余儀なくされています。適切な時期を見て補修、新規購入を行いたいと考えています。

#### (4) 監査機能の充実

平成 24 年度において介護報酬の解釈の間違いで多額の返戻を生じてしまいました。介護報酬の解釈をより深く読み解き、改正された法令に基づいて事業が遂行できているかチェックしなければなりません。事務局の強化を図り監査機能を高めていきたいと考えています。

#### (5) 人事管理、研修制度の充実

職員の専門性などキャリアアップを図るため、職員の研修体系の確立が必要とされています。人事管理システムの構築を図り、職員一人ひとりの研修履歴、資格等を把握し、職員の適正な評価が行われるよう、システムの構築を目指します。